

地域で支える在宅高齢者の “地域包括見守りシステム”の構築

株式会社 ぞうさんのはな 株式会社 きらり.コーポレーション

試作開発・設備投資

事業者の概要

企業名	①株式会社 ぞうさんのはな ②株式会社 きらり.コーポレーション	従業員数	①13人 ②5人
代表者名	①代表取締役 橋本 一郎 ②代表取締役 塚本 薫	業種	①社会保険・社会福祉・介護事業 ②専門サービス業
設立	①平成25年10月 ②平成23年 7月	TEL・FAX	①096-362-7519・096-288-3553 ②096-362-7529・096-288-3556
住所	①熊本県合志市須屋165-5 ②熊本県熊本市北区徳王2-1-48	U R L	②http://www.kirari-co.info/
資本金	①1000万円 ②350万円	E-mail	①sakaguchi-haruhumi@sankolife.co.jp ②tsukamoto@kirari-co.info
		担当者名	①坂口 治史 ②塚本 薫

事業内容・経緯

在宅高齢者の暮らしを支える“情報収集サービス”と、在宅高齢者に関わる関係者の“情報伝達共有システム”を構築するとともに、慢性期の在宅医療に欠かせない“治療食弁当”の開発を行う。その結果、医療・介護関係者、親族、地域社会などと連携した“地域包括見守りシステム”を実現することで、高齢者のサポートに限らず、新たな雇用を生み出す機会を作るとともに、地域活性化にもつなげる。

当事業は、高齢者向けに宅配弁当事業を行う株式会社 ぞうさんのはなと、システム開発・製作を行う株式会社 きらり.コーポレーションが連携して実施。株式会社 ぞうさんのはなが高齢者向けに弁当を配達する際、日常的に会話が行われていることに着目したことをきっかけにプロジェクトを開始した。

事業の成果

高齢者住宅を訪れた担当者（地域見守りコンシェルジュ）が、日常会話の中から高齢者の健康状態や、必要としている生活支援ニーズを聞き取り、これらの情報を別居中の家族、在宅医療機関、介護事業所、地域包括センター、社会福祉協議会などの「在宅高齢者を見守る関係者」とスマートフォンアプリなどの媒体を通じて共有する仕組み。システム・アプリケーション開発は株式会社 きらり.コーポレーションが担当した。

モデルケースでは、株式会社 ぞうさんのはなの1日2回の弁当宅配で見守りを実施。弁当を渡して会話をする際、アプリを使用し医療関係者や親族からの指示事項などの情報を反映させることで仕事の効果が上がることが分かった。さらに、新たな事業者が参入できる環境があり、新規起業につながることも、高い付加価値が得られることも明らかになった。

今後の展望

本事業は、限られた法人や個人の営利目的で取り組むのではなく、ビジネスパッケージとして社会に広く波及させるために取り組んだものである。

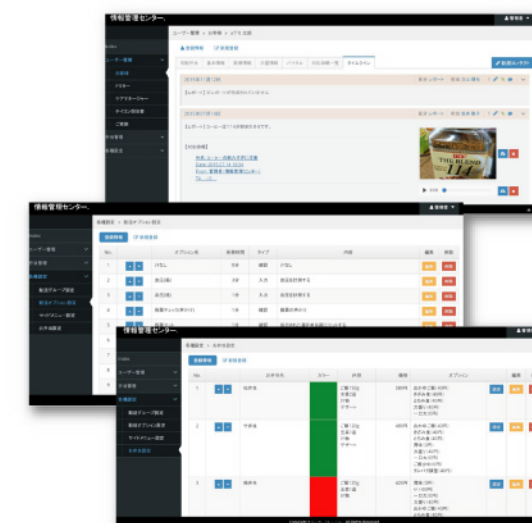
地域社会においては、環境保護、高齢者・障がい者福祉から、子育て支援、まちづくり、観光に至るまで、多種多様な社会課題が顕著化しつつある。そのような中、複数の主体が協力しながら展開できるビジネス手法にソーシャルビジネス、コミュニティビジネスがある。今後それらのビジネスが成功する秘訣のひとつはイノベーション（技術革新）を続けることであると考えられる。そこで目的の異なった組織とコラボレーションしていくことにより、新たな起業や雇用の創出、商店街の繁栄などを通じた地域活性化につなげていきたい。同時に、近代化が進み、あらゆるシステムが機械化する中で、今後もアナログなコミュニケーションを重視する必要性を強く訴えていく。



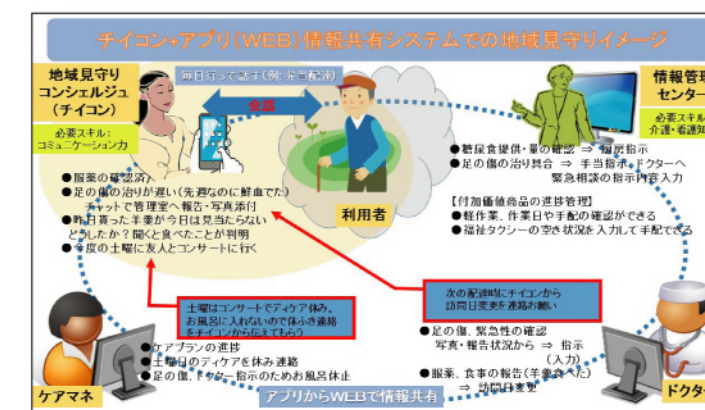
▲1日2回の宅配弁当で、高齢者と日常的な会話が行われている



▲ぞうさんのはながこれらの情報をもとに高齢者・障がい者向け弁当を開発



▲きらり.コーポレーションが担当した情報管理システム



▲“地域包括見守りシステム”の概要図。WEBアプリのデータベースを介して多くの関係者をつなげる